



星川智子議員

星川智子議員 町が人口減少問題解決のために取り組み交流人口・関係人口拡大策の成果は。

ソートシャルイノベーションの活用は

星川議員 若者の起業やビジネス創出のためのベース作りとして金山校の模擬議会議を推進させ、質問だけでなく遊佐町少年議会のように予算をつけて事を形にする訓練をしてはどうか。

総合政策課長 かつて金山校の模擬議会議において生徒から提案があった通学支援事業費補助金については、町外

交流・関係人口拡大への取り組みは

回答 民間のアイデアやイベントを応援

生の通学支援を行い入学者数の確保に努めている。遊佐町少年議会は20年の歴史があり、遊佐町の手法を研究し、金山校の協力を得ながら検討する必要がある。

今後の金山まつり・産業まつりは、星川議員 交流人口が最も見込まれる大イベントだが、この度の批評を踏まえての今後は、

雰囲気づくり、来年度の参加が未定の若連があるなどの課題があがった。来年度も経費支援の要望があり、予算要求をしていく。



産業まつり(10/9)



新庄南金山校模擬議会議

産業課長 金山まつりは3年ぶりに3地区の山車が巡行した。祭りの後の実行委員会では、雨天時の対応や各若連への助成金増額に対する高評価がある一方、観客への変更の周知、夜の灯りや音楽などの

星川議員 大規模災害に備えて相互応援協定を結んでいる我孫子市と文化交流や経済交流をしてはどうか。

町長 平成24年に協定を締結して以来実績はないが毎年連絡を取り合う関係は保持している。近隣町村は大抵姉妹都市を結んでいるが金山町はまだない。我孫子市は一つの候補地として検討したい。

介護保険料を下げられないか

回答 大幅には難しい



須藤典夫議員

介護給付費の増加要因

須藤典夫議員 現在、被保険者の月額保険料が7900円と県内トップの高止まりとなっている。介護給付費を抑えるために「介護予防事業」「健康づくり事業」に取り組んできているが、来年度改正の保険料の見直しはどうか。

町長 県内で一番高い水準になっている主な要因として考えられるのが、施設サービス給付費の増加や初回認定者の重度認定率の増加による介護給付費の増

加、町立金山診療所無床化に伴う介護サービス利用の増加があげられる。現状は上がる要素がかなりあるので、なかなか申し上げにくい状況で、1000円でも安く設定できないか、それを目指しながら様々な角度から検討をしているところである。

健康福祉課長 現在の1億4000万円の基金があるが、これは保険料の余剰分を積み増した基金で、計画を立てる際は、3年間の給

付費全体を推計して計算したものである。3年間の給付費を推計して基金で充当するようにになっている。

高齢者の足「デマンドハイヤー」

須藤議員 デマンドハイヤーの利用者の対応として、障害者手帳や要支援、要介護の認定を受けていないが、歩行などに不安を抱えている人も少なくない。また、車いすを利用している人にも、もっと気楽に外出できる環境を整えてあげられないかと考える。

福祉車両の導入も必要ではないか。

町民税務課長 現在デマンドハイヤーとして使用しているプリウスについては、更新時期が近づいているので、次の車両検討の際は、指摘のあった車椅子への対応なども検討したい。



健康長寿の集い(11/14)

総合政策課長 以前、一般会計から繰り入れして介護保険料を下げたことがあったが、県から町と介護保険者が何%というルールを守らないと、国全体の介護保険制度が崩壊するという指導があった。介護保険料を安くするために、一般会計から繰り入れすることは難